

2010年度事業計画について

当社では、「2008 中期経営計画 Progress2020」の2年目にあたる昨年、北見地区の天然ガス転換作業を完了させ、14年にわたる天然ガス転換作業を無事故で完遂させるとともに、石狩LNG基地の建設工事に本格的に着手する等、持続的な成長の実現に向けた施策を着実に進めております。

昨今、個人消費や住宅投資の低迷や雇用状況の悪化など厳しい状況が続き、当社の事業を取り巻く環境は予断を許さない状況にあります。

一方で、低炭素社会へ向けての動きは、今後もさらに加速すると考えられることから、とりわけ石油依存度が高い北海道においては、環境性に優れた天然ガスが果たす役割は非常に大きいと考えています。

このような認識のもと、中期経営計画の3年目となる2010年度につきましても、経年管対策をはじめとする安全高度化の推進、お客さまへのワンストップサービスを実現する「北ガスフレアスト」による家庭用営業の強化、石狩LNG基地建設工事の推進等の天然ガス供給基盤の整備等、計画達成に向けた諸施策を引き続き着実に進めてまいります。

1. 重点課題の進捗と2010年度の計画

重点課題1 安全高度化の着実な推進

①経年管対策の推進

- ・ねずみ鋳鉄管対策は、これまで北見地区（2008年度）、函館地区（2009年度）、千歳地区（2009年度）の対策を完了しました。（全社の進捗率79%）
- ・今年度は小樽地区を、2011年度は札幌地区の対策を完了させ、2011年度中の全社対策完了を目指します。
- ・保安上重要とされている建物の白ガス経年埋設内管対策についても、2015年の完了を目指し、引き続き取り組みを進めていきます。

②安全型消費機器・設備の普及

- ・下取り制度の活用や各種キャンペーンの実施など、不完全燃焼防止装置のない半密閉式の湯沸器・風呂釜を対象に安全型機器への買い替え促進に取り組んでいます。
- ・昨年度末までに対策完了率72%を達成し、今年度末までには対策完了率80%を目指します。2012年度までに対策完了率概ね100%を目指し引き続き取り組みを進めていきます。

③地震等非常災害対策の推進

- ・地震等の非常災害発生時の2次災害防止および早期復旧を目的に、ガス導管網の被災状況把握と被災地区のガス供給停止を速やかに行えるよう、2008年度からガバナ遠隔監視制御システムの整備に取り組んでおり、2011年の全システム運用開始を予定しています。
- ・4月1日付で供給防災部を新設し、地震等の非常災害時の迅速な対応と政策推進機能等の強化を進めます。

※なお、14年にわたり進めてきました天然ガス転換作業は、昨年8月の北見地区の完了により、当初計画していた天然ガス転換作業は全て無事故で完遂いたしました。

重点課題2 地域深耕営業の強化

①「北ガスフレアスト」の本格稼働

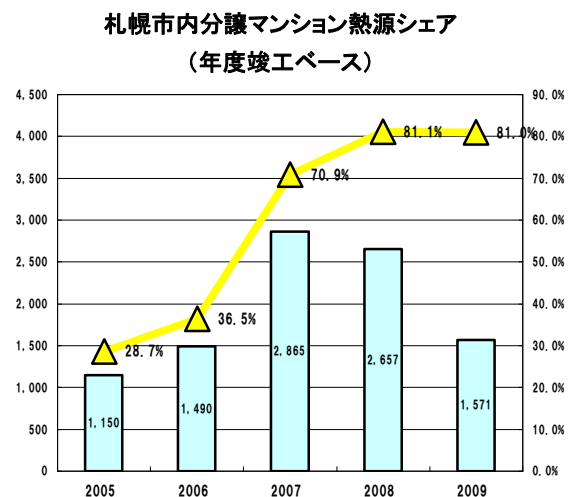
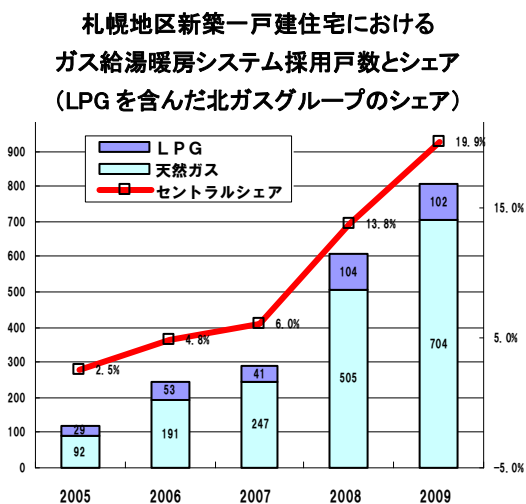
- ・ワンストップサービスの提供によるお客さまサービス向上、家庭用・小口業務用を中心とする需要開発営業の強化を目的とした新地域総合チャネル「北ガスフレアスト」を、札幌地区、函館地区、小樽地区で2010年1月からスタートさせ、既築戸建分野を中心とするガス化営業強化を進めています。
- ・昨年度はお客さまのご要望の聞き取りやガスに関する情報提供等を行う「ふれあい巡回」を戸建住宅にお住まいの当社お客さま約2万件を対象に実施し、今年度は同様に約6万件を対象に実施する予定です。
- ・千歳地区については2010年7月から「北ガスフレアスト」をスタートさせるための準備を進めます。

②天然ガス転換作業完了に伴う要員再配置による営業体制強化

- ・天然ガス転換要員の再配置により、既築家庭用と小口業務用を中心とする需要開発営業強化を図ります。

③省エネ機器・システムの普及拡大

- ・札幌市内の分譲マンションにおける「ファクト」（ガス給湯暖房システム）の採用シェアは、2009年度も2008年度に引き続き8割を維持しました。今年度につきましても、引き続き最大限のシェアの維持・拡大を目指します。
- ・2009年度札幌地区新築一戸建住宅における「エコジョーズ」をはじめとするガス給湯暖房システムの採用シェアは約2割となりました。一方、既築では北ガスフレアストによる取り組み強化により、販売台数の大幅増を目指します。
- ・次世代の家庭用コージェネレーションシステムである「エネファーム」（家庭用燃料電池）の寒冷地仕様機や次世代エコウィルについては、2011年度の市場導入を目指し、仕様決定やフィールド試験を実施します。



■戸建住宅獲得戸数(全社)

	2009年度 (見込み)	2010年度 目標
新築	1,008	1,160
既築	261	1,000
合計	1,269	2,160

■集合住宅獲得戸数(全社)

	2009年度 (見込み)	2010年度 目標
分譲MS	1,689	1,000
賃貸MS	1,006	1,000
合計	2,695	2,000

重点課題3 長期的な視点に立った天然ガス供給基盤の確立

①石狩LNG基地建設の推進

- ・2012年12月の稼働を計画している石狩LNG基地の建設工事については、杭打ち工事、底版工事、内外槽工事のほか、LNG気化装置やLNG輸送管工事に着手しました。今年度は引き続き内外槽工事を進めるほか、タンク屋根組み立て・屋根上げを行い、年内にはタンクの外槽がほぼ完成します。このほか、栈橋・設備基礎工事等にも着手する予定です。

②石狩LNG基地稼働までの安定供給体制の整備

- ・天然ガス需要増加に伴う冬期需要ピーク時の安定供給を確保するため、現在、工事を進めている当社函館みなと工場の増設タンクを2010年10月に稼働させ、道内の天然ガス供給体制を強化します。

重点課題4 グループ構造改革の推進

- ・エネルギー事業への経営資源集中による営業体制強化と業務・機能の統合による生産性向上を目的に、グループ全体における事業領域の再編と業務改革を進めます。
- ・今年度は、石狩LNG基地稼働後の効率的な事業運営を実現するために、グループ会社の事業整理を推進しながら具体的な改革の方向性の明確化を図ります。

2. LPG地区等の天然ガス転換計画について

- ・昨年8月に北見地区の天然ガス転換作業が完了したことにより、これまで14年にわたり行ってきた都市ガスエリアの天然ガス転換作業が無事故で完遂しました。
- ・今年度以降は適宜、LPG供給地区等の天然ガス化を進めていきます。
- ・11月には道内ガス事業者と共同で長万部町の転換作業の支援を行います。

■2010年天然ガス転換計画

		2010(H22)年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
転換実施時期					小樽築港	千歳泉沢 向陽台団地					石狩花畔団地 (3カ年計画)	長万部町	
小樽築港	計画件数 / 機器台数	77件 / 377台											
	セクター数	3セクター											
	転換時期	2010年4月7日～4月15日											
千歳泉沢向陽台団地	計画件数 / 機器台数	2,757件 / 3,876台											
	セクター数	13セクター											
	転換時期	2010年5月10日～6月23日											
石狩花畔団地(1年目) (3カ年計画)	計画件数 / 機器台数	1,775件 / 2,763台											
	セクター数	6セクター											
	転換時期	2010年10月4日～10月22日											
長万部町(支援)	計画件数 / 機器台数	1,298件 / 2,970台											
	セクター数	5セクター											
	転換時期	2010年11月8日～11月24日											
計画件数 / 機器台数 計		5,907件 / 9,986台											
セクター数 計		27セクター											

3. ガス販売量計画・設備投資計画

■ガス販売量計画

(単位:件、百万m³)

		2009年度(見通し)	2010年度計画	増減
お客さま件数		561,394	563,153	0.3%
ガス販売量	家庭用	120	122	1.7%
	業務用	304	320	5.3%
	合計	424	442	4.2%
	卸供給	3	4	33.3%
	総合計	427	446	4.4%

■設備投資計画

(単位:百万円)

	2009年度(見通し)	2010年度計画	主な内容
土地・建物	355	64	
製造設備	3,590	4,998	石狩LNG基地建設等
供給設備	6,087	7,633	導管網整備等
業務設備	471	370	
合計	10,503	13,065	

4. 2011年度中期計画策定(2011～2015年度)についての考え方

2011年の創立100周年をスタートとし、LNGを本格導入する2012年度を含む中期計画を新たに策定します。LNG導入後の原料費・固定費の負担増による経営への影響を最小限に抑えるため、徹底的な業務の効率化を図り、スリムで強靱な企業体質の構築を目指します。

検討の背景 ～2008年度計画策定時からの環境変化～

- ・ 景気の低迷による市場規模の縮小に伴う需要の下ぶれ
- ・ 低炭素社会実現に向けた国家政策の加速
- ・ LNG導入の1年前倒しによる固定費・変動費負担の早期到来とLNGサテライト供給の早期展開

基本方針 ～環境変化への対応～

コスト低減の徹底と需要開発の強化による安定的な事業運営

【具体的な施策骨子(案)】

- ・ 安全高度化に向けた取り組みの着実な推進
- ・ ガス導管を最大限に活用した需要開発の展開
「北ガフレラスト」を中心とする家庭用および小口業務用分野の営業強化
- ・ LNGサテライト供給先の開拓に向けた営業展開
- ・ グループ全体での要員体制の効率化と効果的なコスト低減

以上